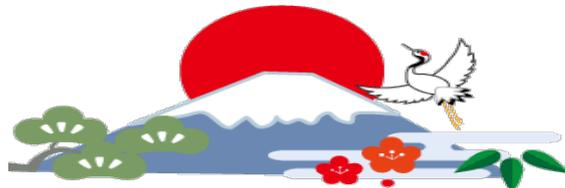


クローバー



【理念】 医療法人秋芳会は医療・保健・介護、各領域のサービスを一体的に提供し地域に開かれ、地域に選ばれ、地域に親しまれる法人を目指します。

ご挨拶



あけましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、新春を晴々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

医療法人秋芳会も開業以来36年になりました。水害・コロナ禍など困難を乗り越え成長してきました。これもひとえに、皆様のお陰と深く感謝いたしております。本年2月より地域包括ケア病床の一部を医療療養病床に変更し、長期療養が必要な患者様にも安心して医療を提供できる環境を作っていきたいと考えております。

医療・保健・各領域のサービスの一体的提供」「地域に開かれます。2021年より一層のご指導を賜りますようお願い申し



あけましておめでとうございます。令和5年4月に赴任し8ヶ月が経過しました。夏暑く、冬寒いという洗礼を受けながらも街の程よいサイズ感と自然を身近に感じられる環境で快適に生活を送っています。

今年は行動範囲を日田市の郊外部にも広げてよりディープな日田市を知りたいと思っています。その一方でご高齢の患者様が通院手段にご苦労されていることや、複数の病院への通院を強いられているという面も見えてきて何とか力になりたいと感じております。

大きなことはできませんが医者として患者様に近い存在であり小さなことを積み上げていくことが今年の目標です。

令和6年が皆様にとって幸多い一年でありますように。



医師 西岡泰信

20



旧年中は格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。2月より地域包括ケア病床36床のうち5床を医療療養病床として開設することとなりました。

地域包括ケア病床では入院期間に制限がありませんが療養病床では医療的ケアおよび介護が必要な患者様の長期療養が可能となります。スタッフ一丸となり、患者様・ご家族様が安心して継続した医療・看護を受けることができる環境を提供して参りたいと思います。

本年も変わらぬご指導を賜りますようお願い申し上げます。



看護師長 後藤実香



令和6年2月より病床の一部が医療療養病床となります



医療療養病床について

医療療養病床は急性期の治療(治療が必要な段階)を終えた後も医療提供の必要が高く療養を継続的に行う必要のある慢性期の患者様を対象とした病床です。

入院当初より包括支援制度が適用されているため治療や検査に制限はありますが入院の間には制限がなく長期療養が可能な病床となります。

入院時に厚生労働省の定める医療の必要度に応じた医療区分および日常生活自立度を包括的に評価を行ない医療必要度の高い主に医療区分 2・3の方を中心に受け入れる病床となっています。

対象となる患者様

- ・ 急性期の治療が終わり病状は安定しているが医療的ケアが継続して必要な状態
- ・ 中心静脈からの点滴、酸素療法など医療行為が必要な状態
- ・ 終末期の(疼痛コントロール目的など)状態
- ・ 在宅療養中の方で医療行為があり一時的な施設利用が難しい場合など

上記以外にも皆様のご希望に添えるように取り組んでいきたいと思っております。

まずは、お気軽にご相談ください

『人生会議(アドバンス・ケア・プランニング)』をご存知ですか？

誰でも、いつでも、命に関わる大きな病気やけがをすることがあります。命の危険が迫った状態になると約70%の方が医療やケアの内容を自分で決めることや望みを人に伝えることができなくなるといわれています。自らが希望する医療やケアを受けるために大切にしていることや望んでいること、どこでどのような医療やケアを望むのか等を前もって自分自身で考え、ご家族など周囲の信頼する人たちと話し合い、自らが望む人生の最終段階における医療・ケアについて医療・ケアチーム等と共有する取り組みを『人生会議(ACP:アドバンス・ケア・プランニング)』と言います。

日田市では、ひたメディケアねっと(在宅介護連携協議会)がきっかけづくりとなるように「私の思いカード」を作成しています。まずは、身近な親しい人(配偶者 両親 子ども 兄弟の方など)とかしこまらずに気軽に思っていること、希望していること等を話してみませんか？

当院でも「私の思いカード」を準備していますのでご希望の方は、お声かけください。



編集後記



明けましておめでとうございます。昨年は大変お世話になりました。当法人は「地域のかかりつけ医」として皆様に頼られる法人を目指し精進していきたくと考えています。本年もご指導のほど宜しくお願い致します。

今年はパリオリンピックが開催されます。どんなスーパースターが現れるのか！楽しみでもありますね。
秋吉病院広報委員会一同